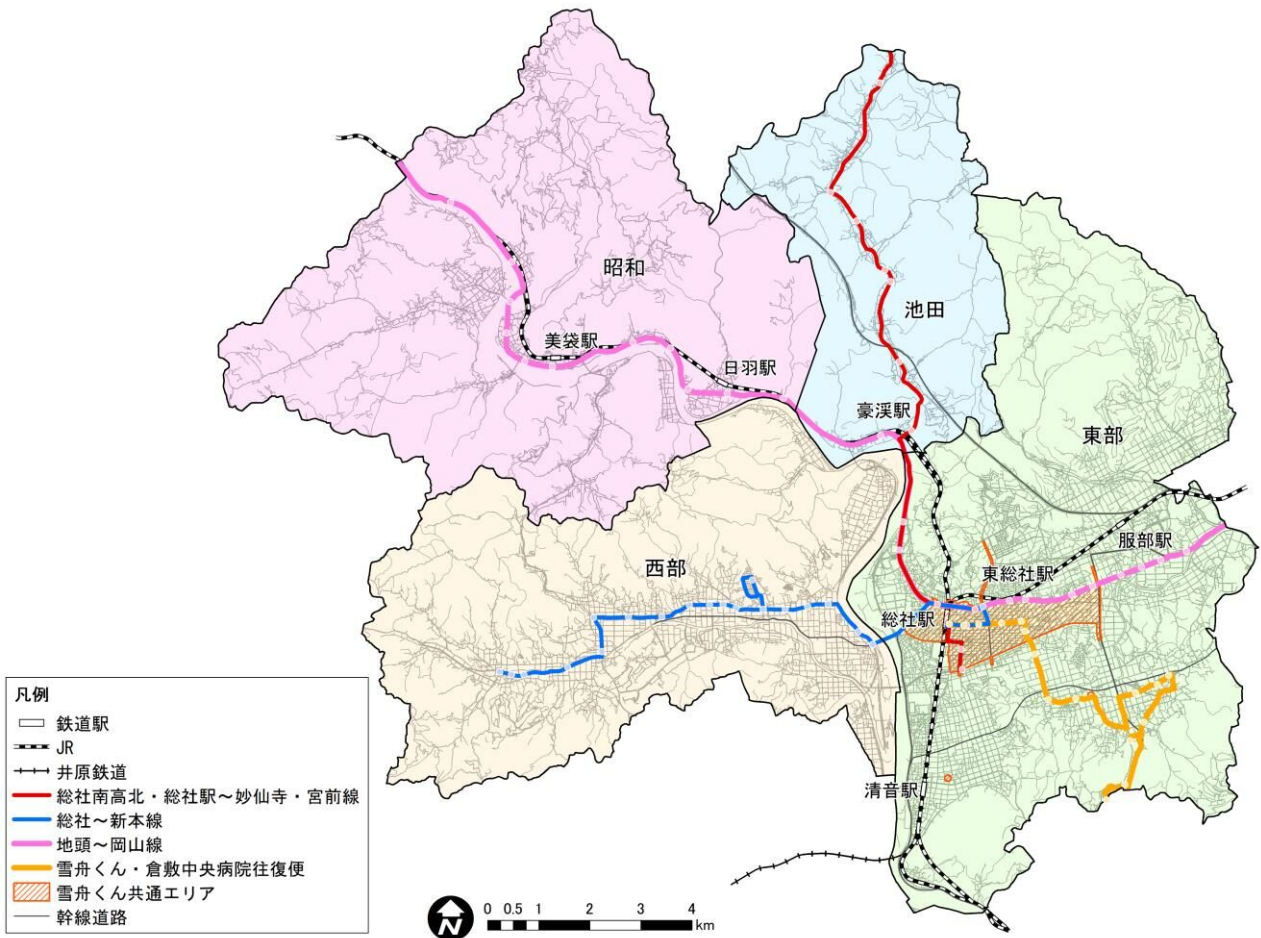


### 3. 公共交通特性

#### 3-1. 公共交通ネットワーク

総社市には、鉄道及び路線バスが下図のネットワークで運行されているほか、総社市新生活交通「雪舟くん」が市内4地域（東部エリア，西部エリア，池田エリア，昭和エリア）と共通エリアを結ぶ形で運行しています。

図 公共交通ネットワーク



出典：総社市資料，岡山県オープンデータ，国土数値情報[バス停留所，バスルート]（令和4年）

## 3-2. 鉄道

市内には、JR 伯備線及び JR 吉備線（桃太郎線）、井原鉄道井原線の 3 路線が運行されています。

JR 伯備線は、倉敷駅（倉敷市）を起点として伯耆大山駅（鳥取県米子市）に至る路線です。市内には清音駅、総社駅、豪渓駅、日羽駅、美袋駅の 5 駅が所在しており、各駅間は複線となっています。

JR 桃太郎線は、岡山駅（岡山市）を起点として総社駅に至る非電化・単線の路線であり、市内には服部駅、東総社駅、総社駅の 3 駅が所在しています。

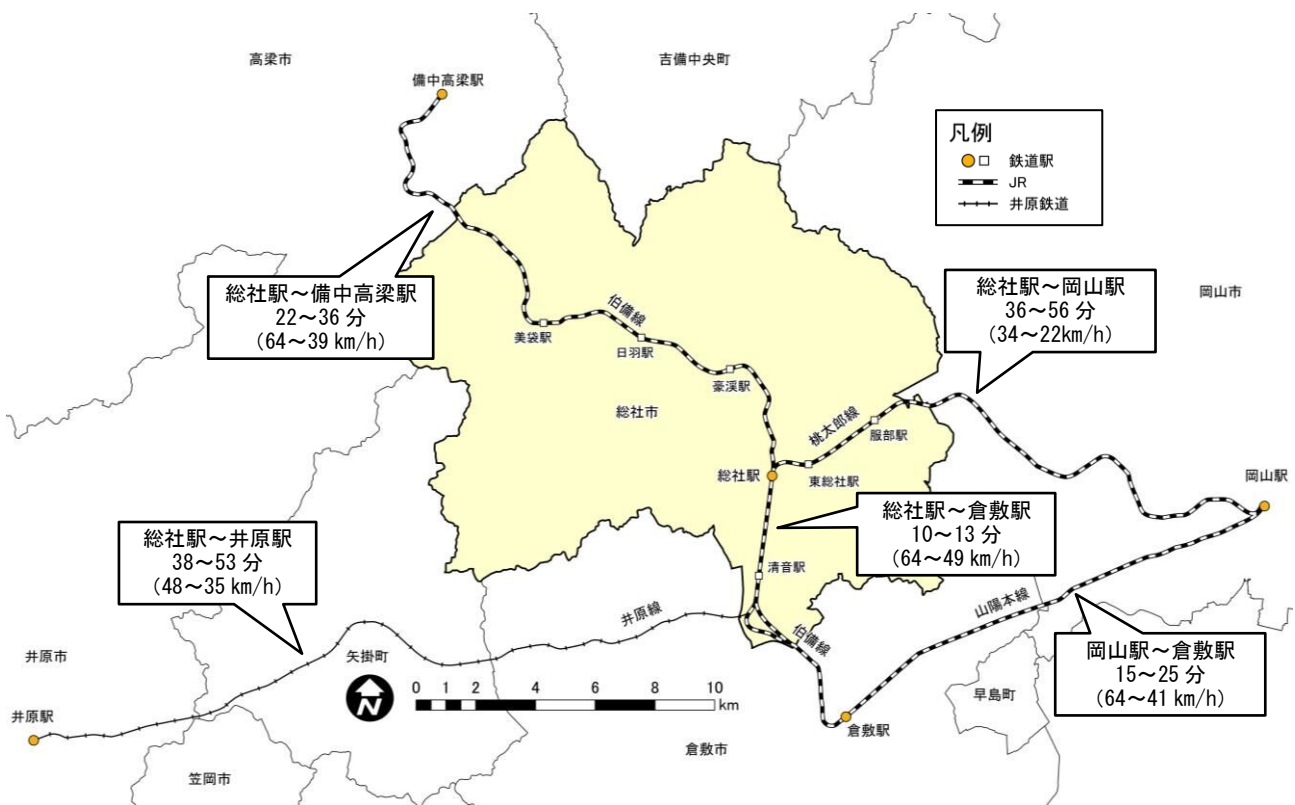
井原鉄道井原線は、総社駅を起点に、清音駅を経て神辺駅（広島県福山市）に至る路線です。総社駅～清音駅間は JR 伯備線との共用区間ですが、清音駅以遠は単線の非電化区間となっています。

### 3-2-1. 所要時間

各路線の駅間の所要時間をみると、JR 山陽本線（岡山駅～倉敷駅間）及び JR 伯備線（総社駅～倉敷駅間）において所要時間が短い一方、井原鉄道井原線（総社駅～井原駅間）及び JR 桃太郎線（総社駅～岡山駅間）において所要時間が長くなっています。

特に、JR 桃太郎線（総社市～岡山市間）は、最大で 56 分の所要時間となっています。

図 鉄道路線の所要時間

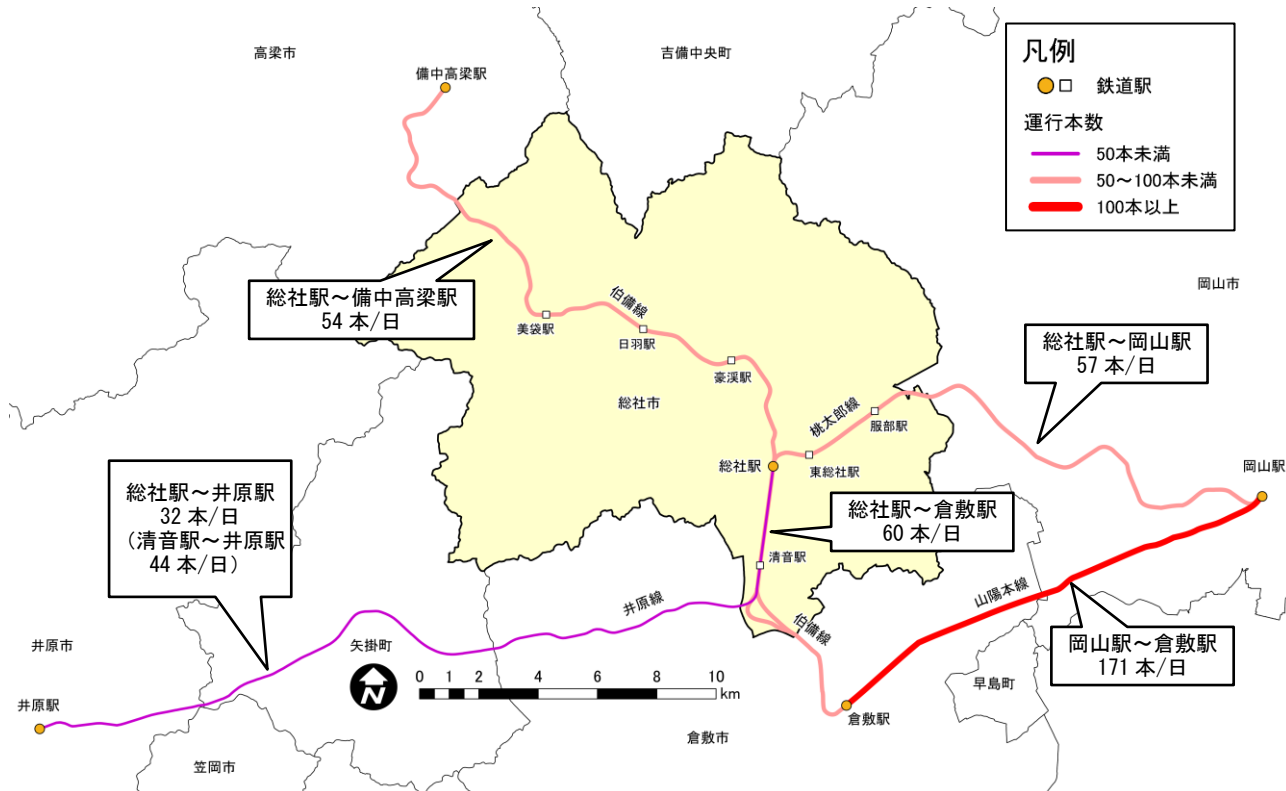


出典：JR おでかけネット、NAVITIME（JR 西日本時刻表）、井原鉄道株式会社 HP（時刻表）（令和 7 年 10 月）  
※特急は除いて集計

### 3-2-2. 運行本数

各路線の運行本数をみると、JR山陽本線（岡山駅～倉敷駅間）では171本/日であるのに対し、JR伯備線（備中高梁駅～倉敷駅間）及びJR桃太郎線（総社駅～岡山駅間）では約60本/日であり、1時間あたり片道1～2便の運行本数となっています。

なお、井原鉄道井原線の運行本数は総社駅～井原駅間では32本/日、清音駅～井原駅では44本/日とさらに少なくなっています。



出典：JR おでかけネット，NAVITIME（JR 西日本時刻表），井原鉄道株式会社 HP（時刻表）（令和7年10月）  
※特急は除いて集計

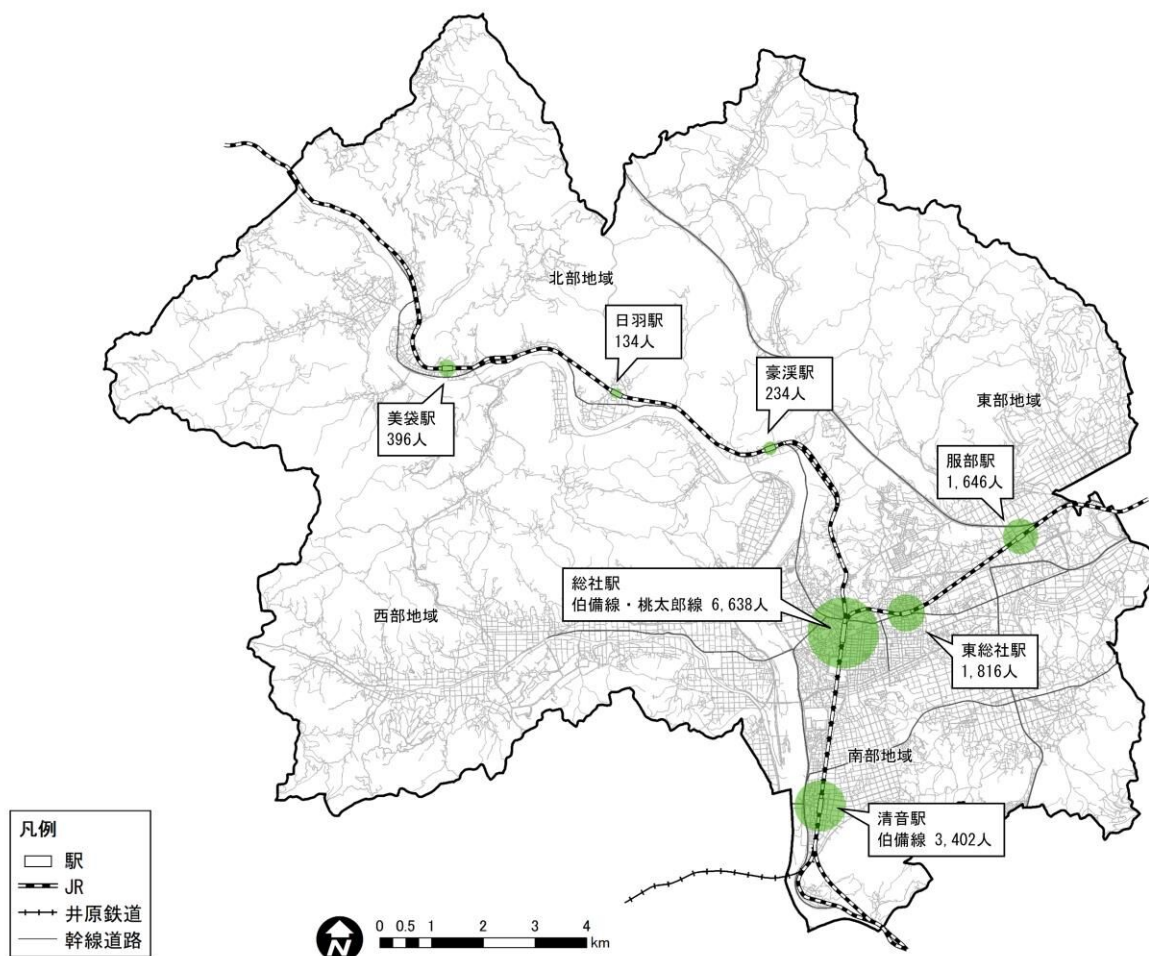
### 3-2-3. 乗降客数

#### (1) 駅別乗降客数(人/日)

駅別乗降客数は、総社駅が6,638人(伯備線・桃太郎線両線合計)と最も多く、以下、清音駅(3,402人)、東総社駅(1,816人)、服部駅(1,646人)の順になっています。

一方、総社駅より北に位置する JR 伯備線各駅の乗降客数は日羽駅が134人、豪渓駅が234人と少ない状況です。

図 駅別乗降客数



※降車人員は乗車人員と同じ数字となる  
※井原線の乗車人員は調査未実施のためデータなし  
出典：西日本旅客鉄道株式会社(令和6年度)

## (2) 駅別乗降客数の推移

### 1) JR

駅別乗降客数の推移をみると、市内の全駅が、令和元年度（2019）から令和6年度（2024）の6年間に於いて横ばいから微減傾向で推移しています。

表 JR 西日本各駅の一日あたり乗降客数の推移

単位：人

年度	伯備線					桃太郎線		
	清音	総社	豪渓	日羽	美袋	東総社	服部	足守
令和元年度	3,358	7,012	262	166	510	1,864	1,656	1,272
令和2年度	2,988	5,822	226	142	432	1,590	964	1,080
令和3年度	3,032	5,878	216	136	398	1,552	1,118	1,062
令和4年度	3,248	6,244	240	154	396	1,642	1,382	1,108
令和5年度	3,368	6,588	256	146	400	1,738	1,502	1,106
令和6年度	3,402	6,638	234	134	396	1,816	1,646	1,094
令和元年度→6年度増減率	1.01	0.95	0.89	0.81	0.78	0.97	0.99	0.86
一日あたり 運行本数 (上下平均)	30.0	伯備線 33.0 桃太郎線 28.5	27.0	27.0	27.0	28.5	28.5	28.5

※令和元年度→6年度増減率：令和6年度一日あたり乗降客数／令和元年度一日あたり乗降客数

※総社駅の乗降客数は伯備線及び桃太郎線での区別は行われていない

出典：令和元年度～令和6年度：西日本旅客鉄道株式会社

JRおでかけネット（令和7年10月）

### 2) 井原鉄道井原線

井原線は各駅ごとのデータがなく、路線全体の一日あたり輸送人員は、令和2年（2020）に新型コロナウイルス感染症流行の影響で減少したものの、それ以降は微増傾向となっています。

表 井原線全線の一日あたり乗降客数の推移

単位：人

年度	井原線全線	
令和元年度	3,031	
令和2年度	2,311	
令和3年度	2,382	
令和4年度	2,561	
令和5年度	2,659	
令和元年度→5年度増減率	0.88	
一日あたり 運行本数 (上下平均)	総社	清音
	16.0	22.0

※令和元年度→5年度増減率：令和5年度一日あたり輸送人員／令和元年度一日あたり輸送人員

出典：岡山県統計年報，井原鉄道株式会社 HP（令和7年10月）

### 3-3. 拠点駅周辺の状況（現地踏査結果）

本市の拠点駅（清音駅，総社駅，美袋駅，服部駅，東総社駅）周辺の状況について現地調査を行った結果は次のとおりです。

なお、拠点駅とは、総社市都市計画マスタープランに定める市域の中心的地域として都市機能の集積・強化を図る都市核，及び都市核とともに周辺部や郊外において既に形成されている拠点性の高い地域である地域拠点の中にある鉄道駅のことであり，交通体系上においても拠点となります。

表 各駅における施設設置状況

駅名	改札	エレベーター	駐車場	駐輪場
清音駅	西口 東口	○ ・東口，西口ともに，JR，井原鉄道どちらもエレベーターを利用できる	○ ・民間の時間貸し(14台)，月極駐車場(20台)あり ・別途パーク&ライド駐車場は3台あり(新幹線利用者のみ(新横浜以遠東京方面))	○ ・西口は民間駐輪場，東口は駅附属の市営駐輪場あり
		×	○ ・西口(36台)，東口(24台)ともに，線路沿線に民間時間貸し駐車場あり 月極駐車場多数あり ・東口(77台)，駅前広場(11台)に市営時間貸し駐車場あり ・駅南高架下(76台)に市営月極駐車場あり	○ ・民間駐輪場多数あり
美袋駅	南口	×	×	○
		・改札～倉敷方面行きホーム間は階段のみ	・時間貸し駐車場なし ・周辺に民間の月極駐車場あり(8台)	・駐輪場あり
服部駅	北口	○ ・単線でホームが1つのため，エレベーター不要	△ ・駅南側(改札なし)に市営月極駐車場あり(44台) ・時間貸し駐車場なし	○ ・駐輪場あり
		×	○ ・民間の時間貸し駐車場あり(6台) ・民間の月極駐車場あり(4台)	○ ・駐輪場あり
東総社駅	南口	×	○ ・民間の時間貸し駐車場あり(6台) ・民間の月極駐車場あり(4台)	○ ・駐輪場あり
		・改札～岡山方面行きホーム間は階段のみ		

# 清音駅

位置図	正面からの様子

# 総社駅

位置図	正面からの様子

# 美袋駅

位置図	正面からの様子

# 服部駅

位置図	正面からの様子

# 東総社駅

位置図	正面からの様子

調査日：令和7年7月4日

## 3-4. 路線バス

### 3-4-1. 市内のバス路線

市内には JR 総社駅を起点とした路線が 4 系統（中鉄バス 2 系統，備北バス 1 系統，日の丸タクシー 1 系統）運行されています。鉄道駅間を結ぶ路線は，国道 180 号を運行する地頭～岡山線（備北バス）がありますが，JR 清音駅や JR 服部駅につながるバスは運行されていません。また，美袋駅発着の 2 系統が令和 3 年 3 月に廃止されています。

各バス路線の運行は，平日を中心とし 1～5 便/日であり，また土日祝運行の路線は 2 系統となるなど，利用が限られる運行状況となっています。

図 総社市内バス路線



出典：総社市 HP

表 総社市内バス路線一覧

区分	系統名	便数	事業者
路線バス	総社～新本線	平日 1.5 便/日*	中鉄バス
	総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線	平日 2.5 便/日 土曜 3 便/日 日祝 1 便/日	
	地頭～岡山線	平日 3 便/日 土日祝 4 便/日	備北バス
	雪舟くん・倉敷中央病院往復便(予約型乗合方式)	平日 5 便/日*	日の丸タクシー

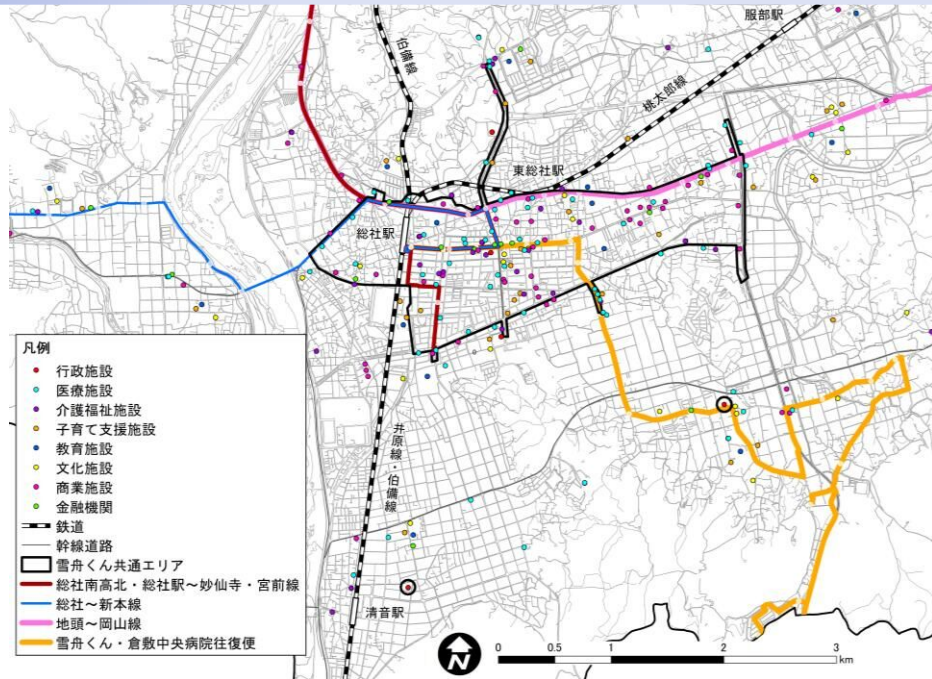
※土日祝運休

出典：総社市 HP，バス事業者 HP（令和 7 年 10 月）

### 3-4-2. 中心部におけるバス路線の状況

JR 総社駅、東総社駅を含む中心部には多くの都市施設が集中していますが、中心部におけるバス路線密度は低く、またバスの運行本数も非常に少ないことから、中心部内における移動利便性が低い状況にあります。

図 中心部におけるバス路線の状況

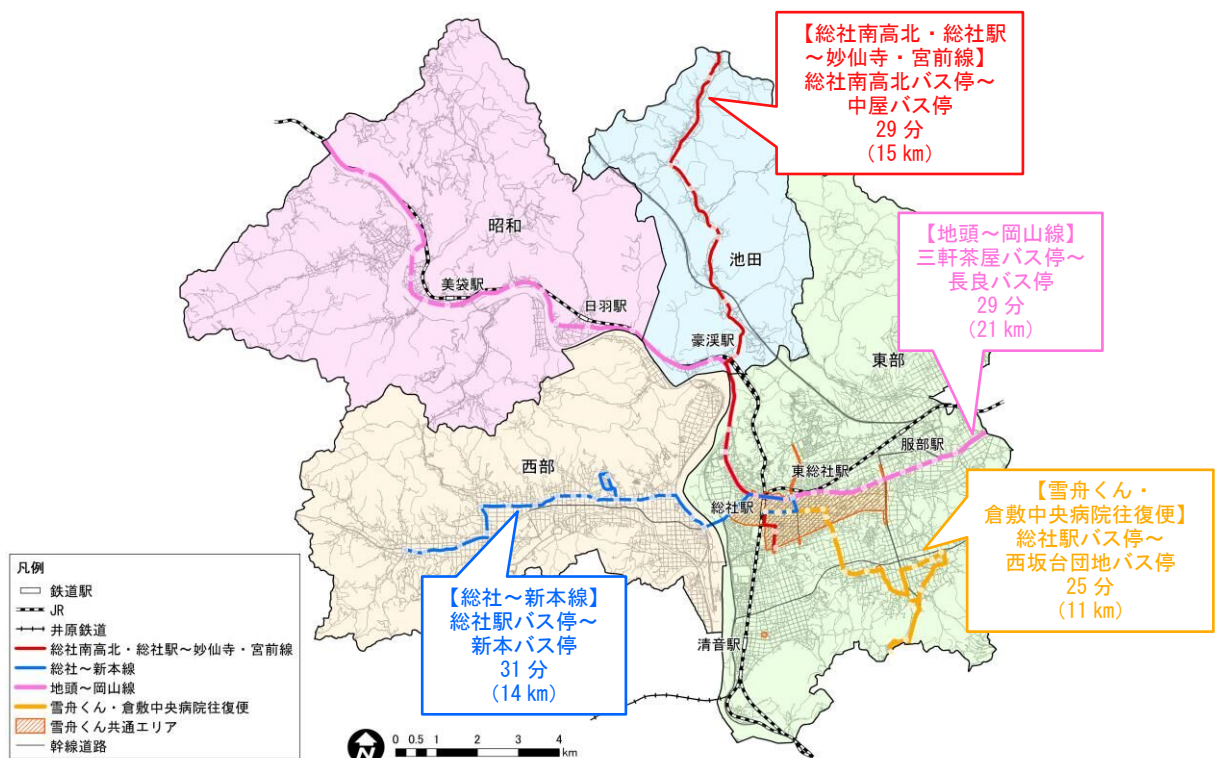


出典：国土数値情報[都市計画決定情報データ]（令和4年）、総社市HP、岡山県HP、地域医療情報システム、介護サービス情報公表システム、介護サービス情報公表システム、iタウンページ、Googleマップ、金融機関コード・銀行コード・支店コード検索、日本郵政HP（令和7年7月）

### 3-4-3. 所要時間

各バス路線のバス停間での所要時間は、各路線で概ね30分程度となっています。

図 総社市内バスの所要時間



出典：NAVITIME、総社市HP（令和7年10月）

### 3-4-4. 運行時間帯

各路線バスの運行時間帯は下表のとおりであり、雪舟くん・倉敷中央病院往復便で片道 5 本/日、地頭～岡山線で片道 3 本/日、その他の路線で片道 2 本と非常に少ない状況にあります。

表 運行時間帯

時間	総社到着時間			美袋到着時間		
	総社～新本線 (終点)	総社南高北・総社駅 ～妙仙寺・宮前線		雪舟くん・ 倉敷中央病院 往復便 (終点)	地頭～岡山線	
		妙仙寺/ 宮前方面～	総社南高北 方面～		長良方面～	三軒茶屋 方面～
6時台	51					
7時台						
8時台	11	2				43
9時台				0		58
10時台		6				
11時台						13
12時台						
13時台				30		
14時台				45	11	
15時台					26	
16時台			54	15		
17時台						
18時台			54		26	
19時台				0		

※総社駅又は美袋駅に到着するバスの時刻を整理（地頭～岡山線は美袋駅に近接の「昭和小学校前」とした）  
 出典：総社～新本線，総社南高北・総社駅～妙仙寺・宮前線，雪舟くん・倉敷中央病院往復便／総社市・事業者 HP  
 地頭～岡山線／NAVITIME（令和 7 年 10 月）

### 3-4-5. 利用者数

一日あたりのバス利用者数について、備北バスの地頭～岡山線が最も多く、他の路線は 20 人以下となっています。

表 利用者数（日平均）

年度	中鉄バス		備北バス	雪舟くん・ 倉敷中央病院 往復便	総計
	総社南高北・ 総社駅～妙仙 寺・宮前線	総社～新本線	地頭～ 岡山線		
令和6年度	15	6	63	7	91

単位:人

※雪舟くん・倉敷中央病院往復便は令和 6 年 4 月から令和 7 年 3 月までの利用者数，  
 その後は令和 5 年 10 月から令和 6 年 9 月までの利用者数  
 出典：総社市資料

### 3-4-6. 鉄道との乗継状況

JR との乗継に関しては、待ち時間は少ない状況にありますが、待ち時間が 30 分以上となる便も見られます。

一方、井原鉄道では待ち時間が 50 分を超える便が多く見られます。

表 総社駅における乗継状況

#### バスから鉄道への乗継ぎ

バスの到着時刻		電車の到着時刻		待ち時間
系統	時間	方面	時間	
総社～新本線	6:51	岡山	7:07	0:16
		高梁	7:06	0:15
		倉敷	7:05	0:14
		井原	7:10	0:19
総社南高北・総社駅 ～妙仙寺・宮前線 (妙仙寺前/宮前方面～)	8:02	岡山	8:07	0:05
		高梁	8:20	0:18
		倉敷	8:35	0:33
		井原	8:09	0:07
総社～新本線	8:11	岡山	8:38	0:27
		高梁	8:20	0:09
		倉敷	8:35	0:24
		井原	12:06	3:55
雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	9:00	岡山	9:06	0:06
		高梁	9:47	0:47
		倉敷	9:31	0:31
		井原	12:06	3:06
総社南高北・総社駅 ～妙仙寺・宮前線 (妙仙寺前/宮前方面～)	10:06	岡山	10:23	0:17
		高梁	10:26	0:20
		倉敷	10:26	0:20
		井原	12:06	2:00
雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	13:30	岡山	13:54	0:24
		高梁	13:45	0:15
		倉敷	14:09	0:39
		井原	14:02	0:32
雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	14:45	岡山	14:54	0:09
		高梁	14:49	0:04
		倉敷	14:50	0:05
		井原	15:05	0:20
雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	16:15	岡山	16:24	0:09
		高梁	16:19	0:04
		倉敷	16:48	0:33
		井原	17:04	0:49
総社南高北・総社駅 ～妙仙寺・宮前線 (総社南高北方面～)	16:54	岡山	16:54	0:00
		高梁	17:09	0:15
		倉敷	17:33	0:39
		井原	17:04	0:10
総社南高北・総社駅 ～妙仙寺・宮前線 (総社南高北方面～)	18:54	岡山	18:54	0:00
		高梁	18:56	0:02
		倉敷	19:34	0:40
		井原	19:14	0:20
雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	19:00	岡山	19:24	0:24
		高梁	19:19	0:19
		倉敷	19:34	0:34
		井原	19:14	0:14

#### 鉄道からバスへの乗継ぎ

電車の到着時刻		バスの到着時刻		待ち時間	
方面	時間	系統	時間		
岡山	6:31	雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	7:30	0:59	
	高梁			7:05	0:25
	倉敷			7:05	0:25
	井原			7:14	0:16
岡山	7:40	総社南高北・総社駅 ～妙仙寺・宮前線 (総社南高北方面へ)	8:02	0:22	
	高梁			7:49	0:13
	倉敷			7:55	0:07
	井原			8:01	0:01
岡山	8:48	雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	9:00	0:12	
	高梁			8:34	0:26
	倉敷			8:52	0:08
	井原			8:01	0:59
岡山	11:48	雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	12:00	0:12	
	高梁			11:50	0:10
	倉敷			11:53	0:07
	井原			11:37	0:23
岡山	12:48	総社南高北・総社駅 ～妙仙寺・宮前線 (妙仙寺前/宮前方面へ)	13:02	0:14	
	高梁			11:50	1:12
	倉敷			12:49	0:13
	井原			12:37	0:25
岡山	14:29	雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	14:45	0:16	
	高梁			14:09	0:36
	倉敷			14:09	0:36
	井原			13:37	1:08
岡山	16:31	総社南高北・総社駅 ～妙仙寺・宮前線 (妙仙寺前/宮前方面へ)	16:54	0:23	
	高梁			16:48	0:06
	倉敷			16:47	0:07
	井原			16:54	0:00
岡山	17:01	雪舟くん・ 倉敷中央病院往復便	17:30	0:29	
	高梁			17:21	0:09
	倉敷			17:08	0:22
	井原			17:28	0:02
岡山	17:31	総社～新本線	17:50	0:19	
	高梁			17:21	0:29
	倉敷			17:45	0:05
	井原			17:28	0:22
岡山	18:31	総社南高北・総社駅 ～妙仙寺・宮前線 (妙仙寺前/宮前方面へ)	18:54	0:23	
	高梁			18:43	0:11
	倉敷			18:15	0:39
	井原			18:37	0:17

出典：NAVITIME 路線バス時刻表，総社市・事業者 HP（令和 7 年 10 月）  
※普通列車を対象，井原鉄道については清音駅始発・終着の便は含めずに集計

## 3-5. 総社市新生活交通「雪舟くん」

公共交通空白地域の解消及び公共交通網の補完を目的に、予約型の乗合方式による交通体系（デマンドタクシー）として、総社市新生活交通「雪舟くん」が平成23年（2011）4月より運行されています。

### 3-5-1. 雪舟くんの概要

#### (1) 雪舟くんの概要

総社市新生活交通「雪舟くん」は、交通空白地の解消と十分でない公共交通網を補う意味から生まれた、予約型で乗合方式の市民みんなの乗り物です。

7人乗り（乗車定員5人）のワンボックスカーを使い、自宅の戸口を出てから目的の戸口までを、1人1回乗車300円の運賃で送迎しています。

なお、運行については、市内バス・タクシー事業者に委託しています。

#### (2) 利用方法等について

運行は平日のみで、午前8時から午後4時台までとしています。土・日曜日、祝日、年末年始は、運休となります。

市内を、東部、西部、池田、昭和の4つの区域と、市街地に設定する「共通エリア」の5つの区域を使って運行します。

#### 利用方法

- 1：乗車場所も目的地も同じ区域内にある場合の運賃は、1人1乗車300円で利用できます。（減免制度あり）
- 2：次頁図で示す共通エリア（官公庁や病院、商業施設などが多く、多くの人の利用が想定される区域）に目的地や乗車場所があり、東部、西部、昭和、池田のいずれかの区域との間を移動する場合の運賃も、1人1乗車300円で利用できます。
- 3：東部、西部、昭和、池田の各区域間を移動する場合は、一度共通エリアに向かい、共通エリア内で別の車両に乗り換え、目的地に向かいます。2回乗車になるため運賃は600円です。
- 4：車いすを使っている人や、一人で乗り降りできない人は利用できません。また、ひざの前に置くことができないほど大きな荷物を持つての乗車はできません。買い物や通院などで外出するとき、1時間前までに行き帰りの電話予約をすると、自宅などに迎えに行き、希望する目的地までお送りします。また、帰るときは、商店や病院などに迎えに行き、自宅などにお送りします。乗り合いなので、目的地に向かう途中、別の利用者のお宅や目的地を、順番に回りながらの運行をするため、正確な定時での運行はできません。

#### 一般的な利用例

##### 1) 利用申込

電話で予約する。利用する1週間前から1時間前までに、電話で予約します。（午前8時台の予約は、前日までに）

##### 2) 迎え

300円払い乗車（予約した利用者のうち、一番遠い人から迎えに行きます。運賃は、乗車したときに支払います）

##### 3) 移動（乗り合い）

目的地に直行するタクシーとは異なり、目的地に向かう途中、別の利用者のお宅や目的地を、順番に移動します。

##### 4) 到着

目的地に到着し、下車します。帰宅の場合も同様に予約をすれば、総社市新生活交通を利用できます。

1. 利用申込



2. 迎え



3. 移動、乗り合い



4. 到着



図 総社市新生活交通「雪舟くん」利用エリア



出典：総社市資料

### 3-5-2. 運行時間

運行時間は、平日の午前8時から午後4時台までとなっています。

### 3-5-3. 利用者数

#### (1) 利用者数の経年変化

令和6年度(2024)の年間利用者数は42,634人であり、一日あたりの利用者数は178人となっています。

また、利用者数の推移では、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けて減少し、それ以降は横ばい傾向となっています。

表 総社市新生活交通「雪舟くん」利用者数・登録者数

単位：人

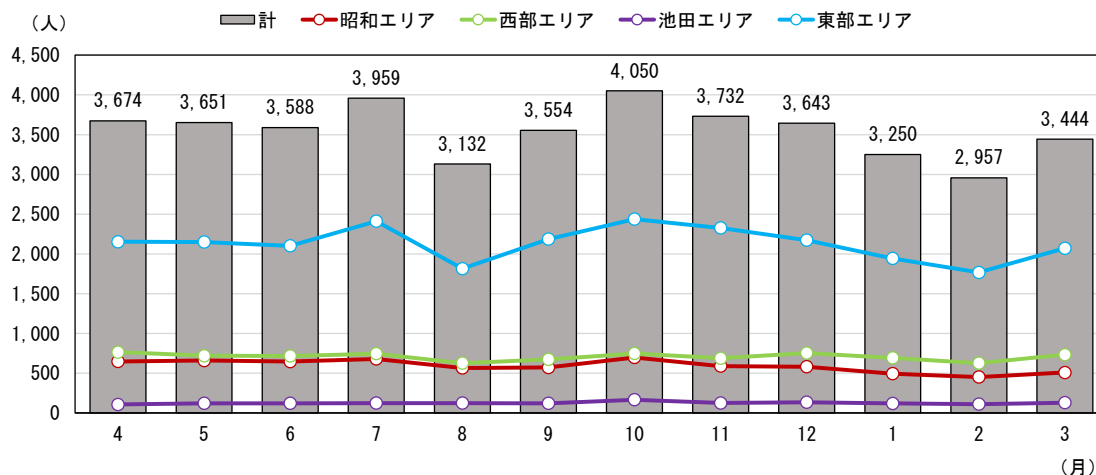
	年間利用者数	一日あたりの利用者数	登録者数 (累計)
平成29年度 (2017)	52,926	219	18,235
平成30年度 (2018)	51,572	214	18,767
令和元年度 (2019)	51,022	216	19,553
令和2年度 (2020)	42,055	175	19,997
令和3年度 (2021)	42,328	176	20,564
令和4年度 (2022)	42,718	177	21,059
令和5年度 (2023)	44,081	184	21,660
令和6年度 (2024)	42,634	178	22,060

出典：総社市資料

## (2) 月別利用者数

各月の利用者数は概ね 3,500 人程度を推移していますが、8 月及び 1 月、2 月において利用者数が少なくなっています。

図 月別利用者数



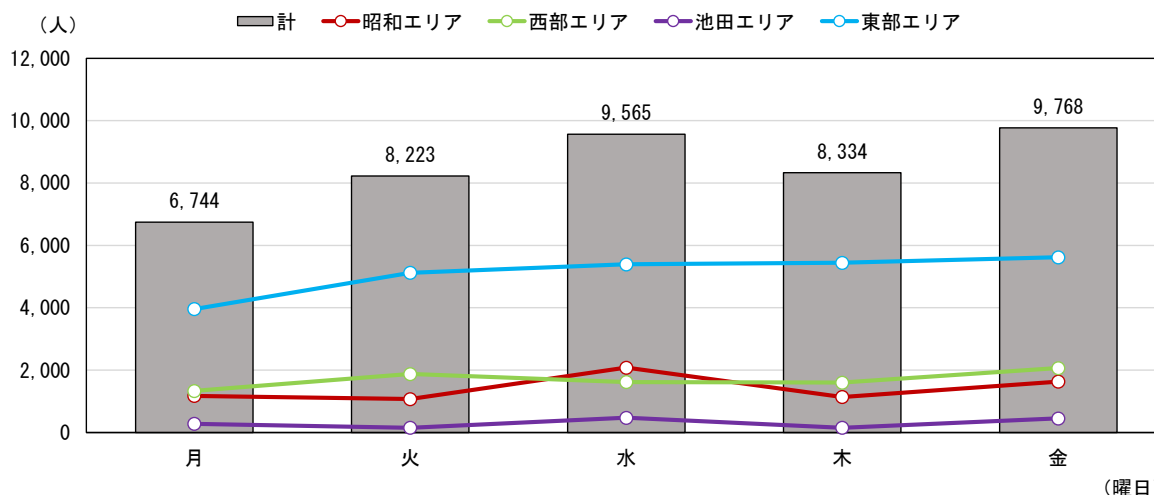
出典：総社市資料（令和 6 年度）

## (3) 曜日別利用者数

月曜日が 6,700 人程度と最も少なく、水曜、金曜日は 9,500 人以上と多くなっています。火曜、木曜は 8,300 人程度となっています。

月曜日の利用者数は金曜日の利用者数の 7 割程度に留まっています。

図 曜日別利用者数



※振替休日の影響あり

出典：総社市資料（令和 6 年度）

#### (4) 運行時間帯別利用者数

行きは、8～10時台に集中しており、当該3時間帯で全体の6割を占めています。

帰りは、14時台の利用こそ少ないものの、11～16時の間に広く分散しています。

行き帰り合計で最も多いのは9時台の約6,500人、最も少ないのは14時台の約3,000人であり、その他の時間帯は概ね3,500～6,000人の利用となっています。

図 運行時間帯別利用者数（行き）

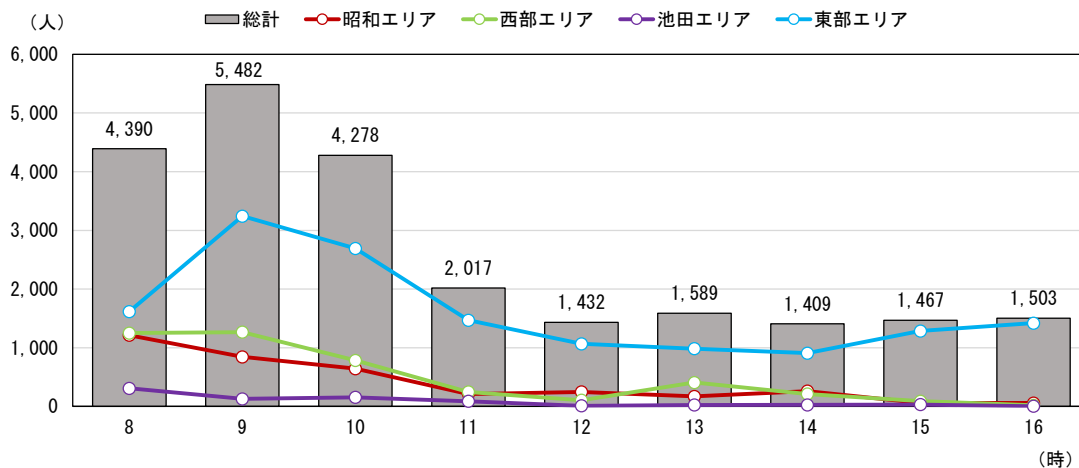


図 運行時間帯別利用者数（帰り）

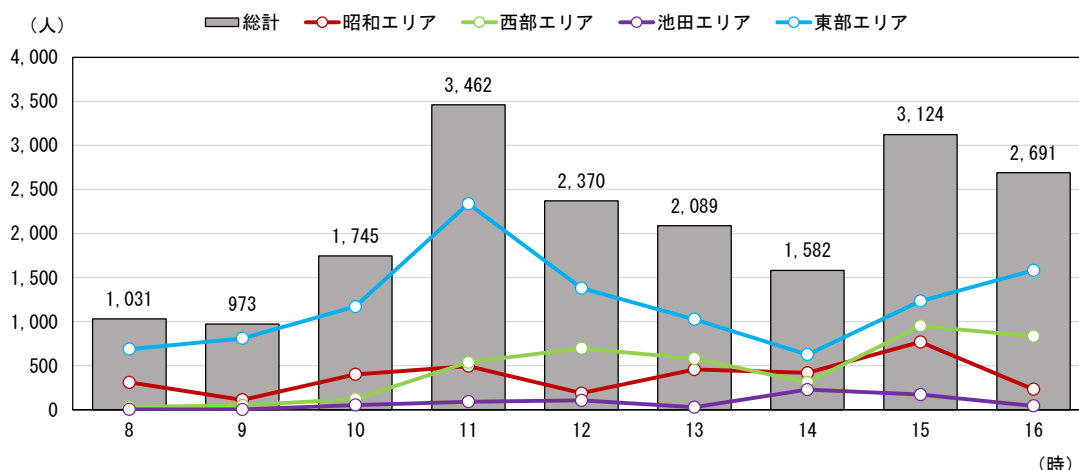
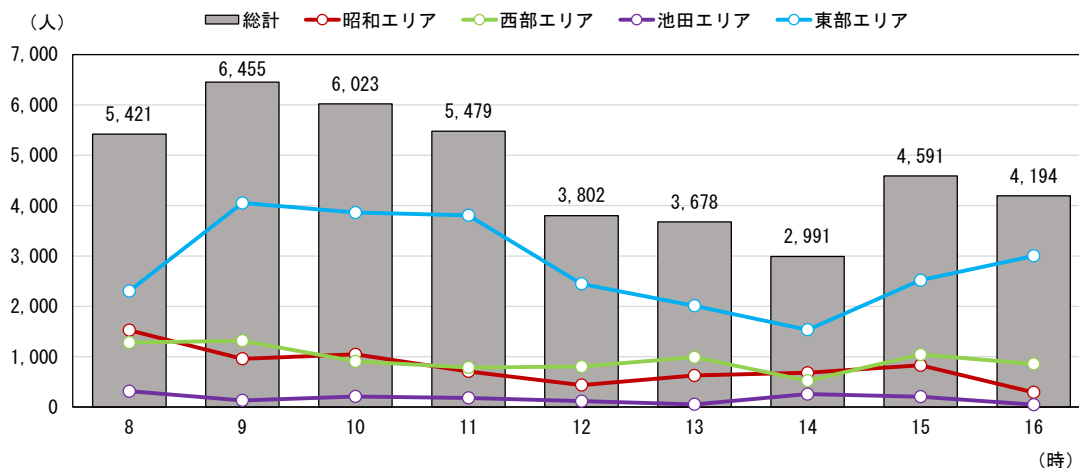


図 運行時間帯別利用者数（合計）



出典：総社市資料（令和6年度）

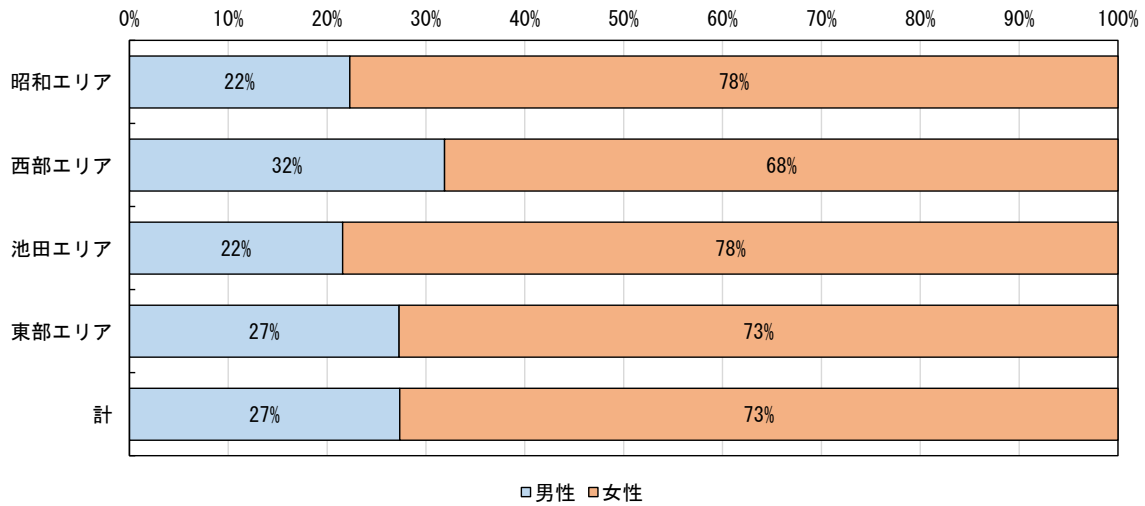
### 3-5-4. 利用者属性

この1年間で雪舟くんを利用した1,474人の属性についてみると、女性の割合は全体の73%を占めており、いずれのエリアでも6割を超えています。

また、年代別では60歳以上の利用者が全体の8割を占めており、特に昭和、池田エリアでは9割を占めています。

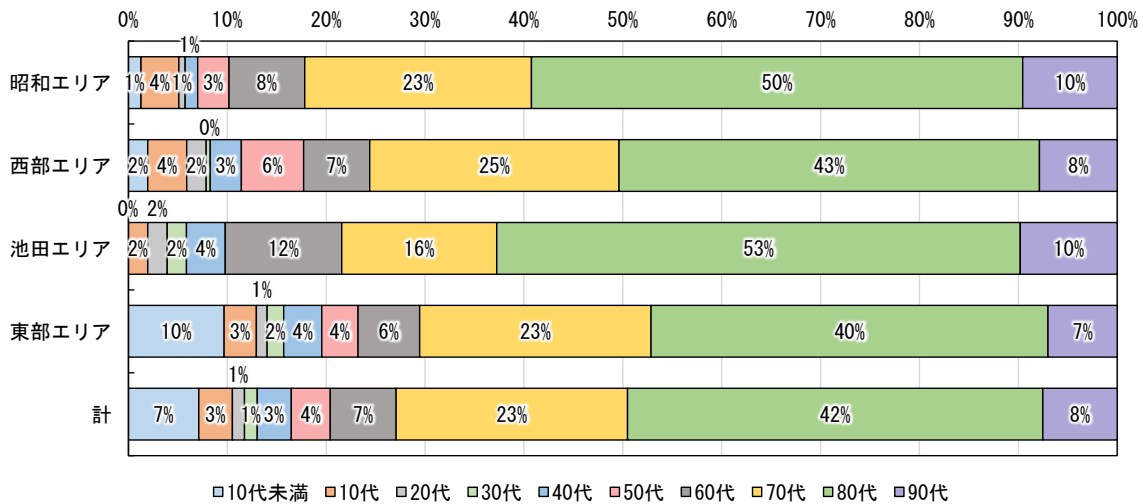
実利用率は昭和エリアが5.8%で最大となっています。

図 性別



出典：総社市資料（令和6年度）

図 年代別



出典：総社市資料（令和6年度）

表 実利用率

	人口（人）	実利用者（人）	実利用率
昭和エリア	2,720	157	5.8%
西部エリア	8,909	254	2.9%
池田エリア	1,123	51	4.5%
東部エリア	56,278	1,014	1.8%
計	69,030	1,474	2.1%

出典：令和2年国勢調査，総社市資料（令和6年度）

### 3-5-5. エリア別トリップ数（※雪舟くんに乗って降りるまでの移動を1トリップとしている。）

西部、池田、昭和、東部（共通エリアを除く）の各エリアにおけるトリップ数をみると、東部エリアが約13,500件と最も多く、池田エリアが約1,500件と最も少なくなっています。西部エリア、昭和エリアは概ね7,000～9,000件程度となっています。

共通エリア関連のトリップ数はエリア内が約12,000件、エリア外が約28,000件となっています。

エリア内交通の割合は全体で21%であり、エリア別にみると、共通エリア内（30%）、昭和エリア内（21%）で高く、西部エリア（3%）、池田エリア（0%）で低くなっています。

※トリップ：ある目的を持って発地から着地へ移動する際の、一方向の移動を表す概念のこと。同時にその移動を定量的に表現する際の単位。（例：自宅⇒勤務地/1トリップ、自宅⇒勤務地⇒飲食店⇒自宅/3トリップ）

図 エリア別トリップ数

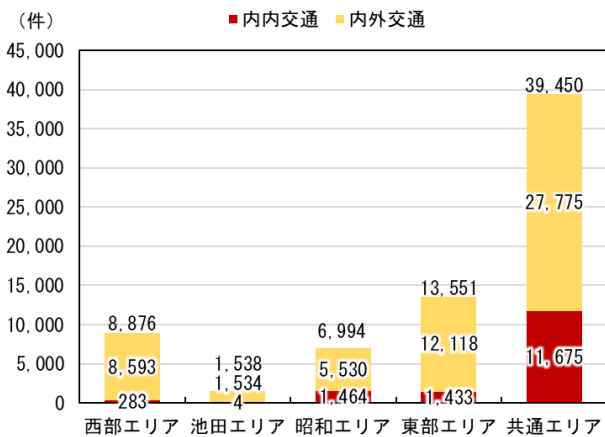
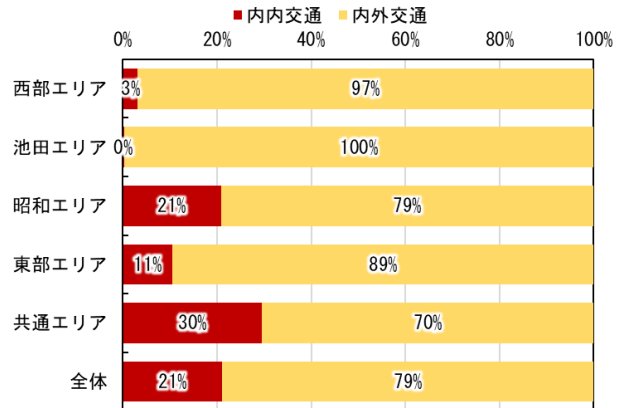


図 エリア内移動の割合

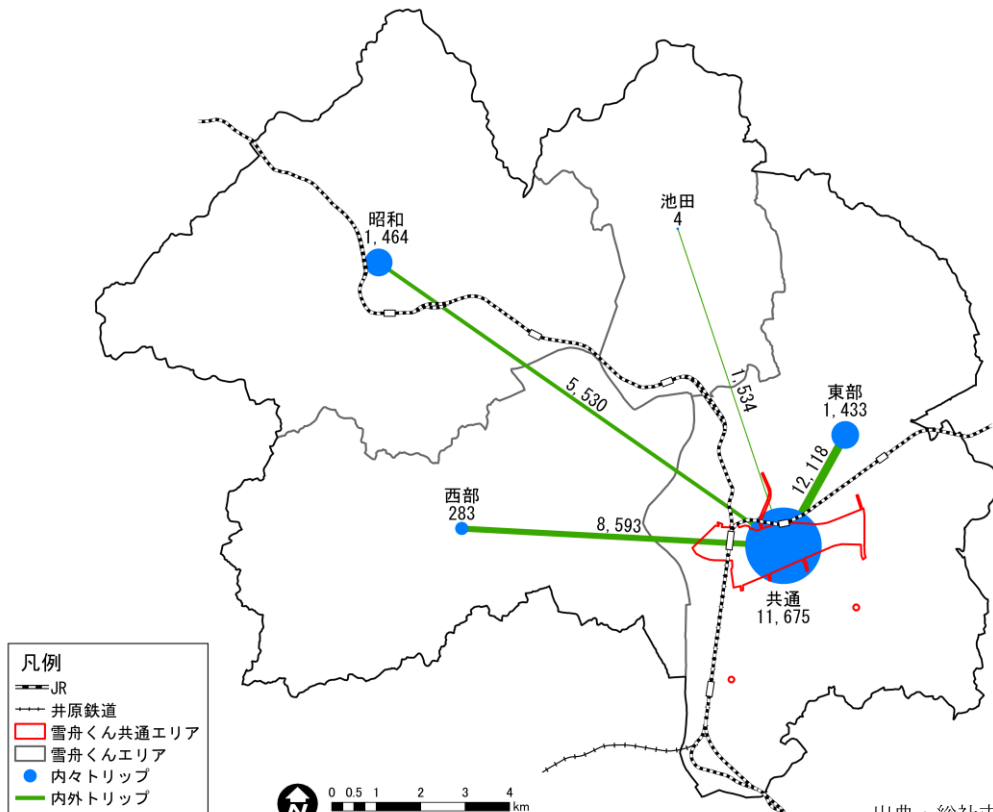


出典：総社市資料（令和6年度）

※東部エリアは共通エリアを除く

※集計の便宜上、共通エリアに一部でも含まれる地区は全て共通エリアとした

図 各エリアの内々・内外トリップ数



出典：総社市資料（令和6年度）

### 3-5-6. 地区別利用状況

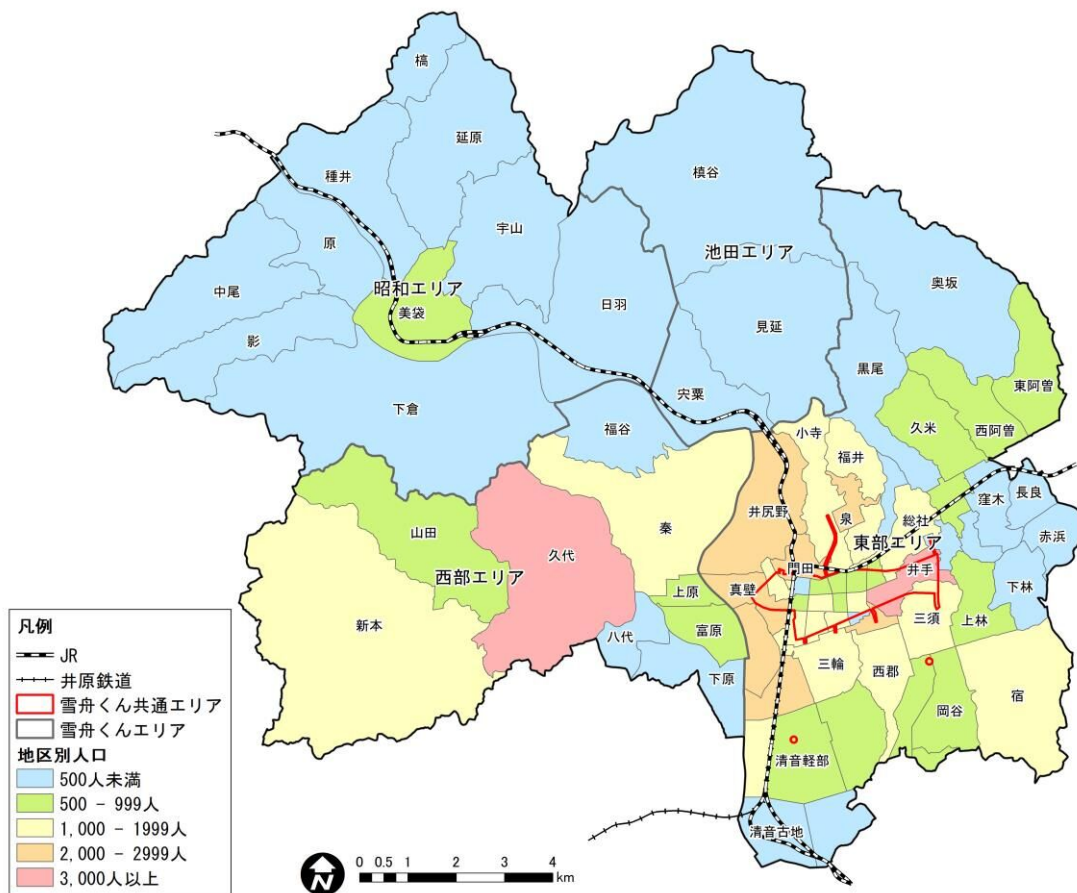
#### (1) 地区別利用率

各地区の居住人口は、昭和及び池田エリアでいずれの地区も1,000人未満であり、西部エリアでは新本、秦の両地区で1,000人を越え、久代で3,000人を越えています。

地区別利用者数は、西部地区の久代で50人を越えるほか、同じく西部地区の新本、秦地区、昭和地区の美袋、下倉地区、東部エリアの共通エリア周辺地区で30人を越えています。

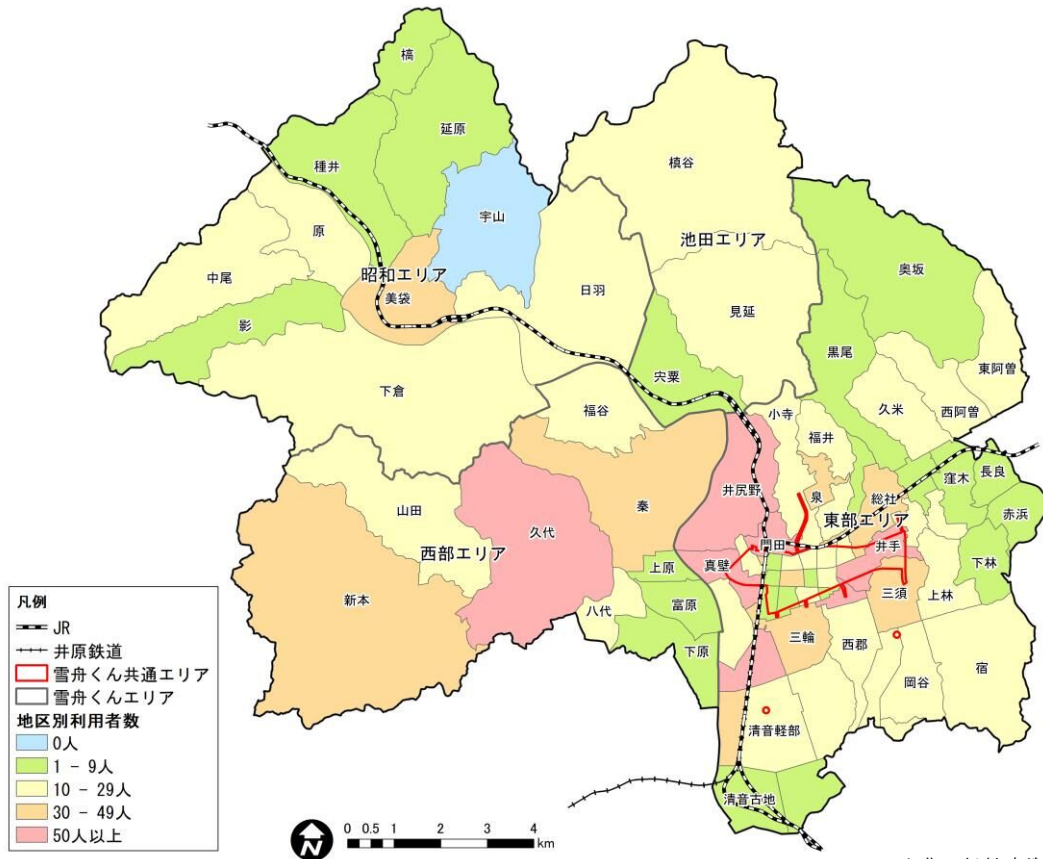
利用率では、昭和エリアの延原地区が10.3%と突出しているほか、昭和エリアの利用率が他のエリアと比較して高い一方、西部エリア及び東部エリアではほとんどの地区の利用率が4%未満となっています。

図 地区別人口



出典：令和2年国勢調査

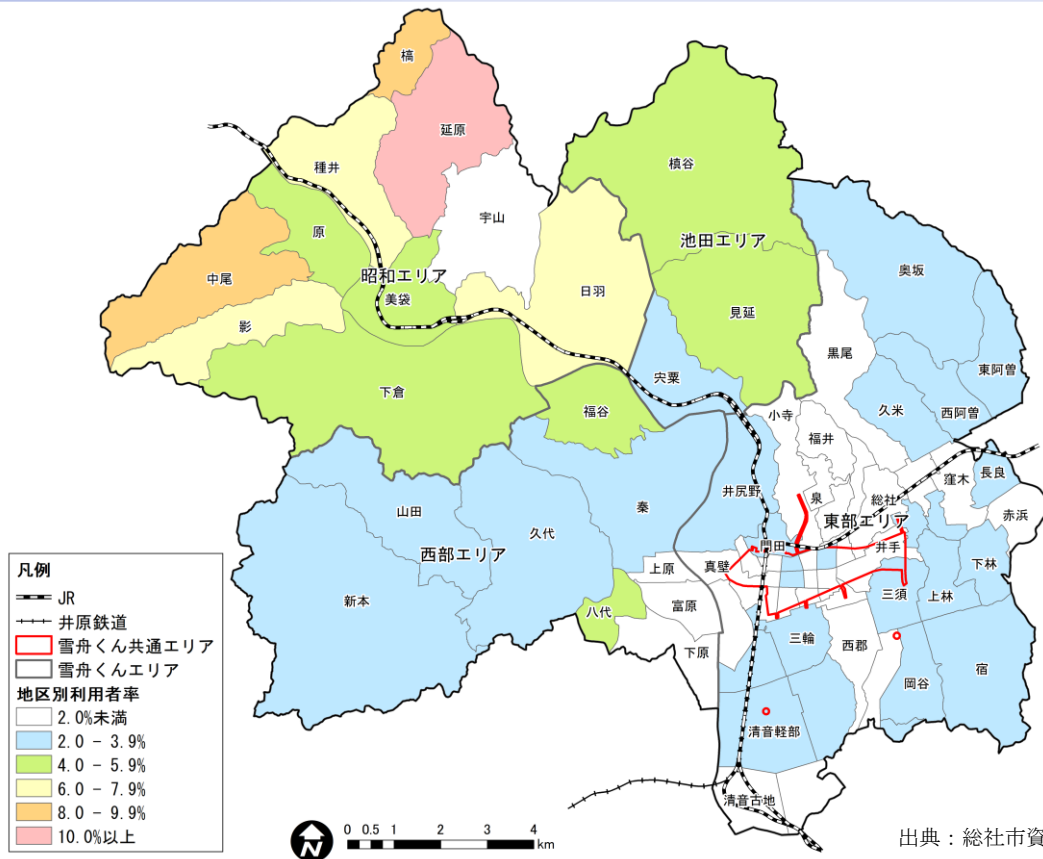
図 地区別利用者数



出典：総社市資料（令和6年度）

※利用者数は令和6年4月～令和7年3月の間に雪舟くんを利用した人（1,475人）を対象とし、何回利用しても1人としてカウントしている。

図 地区別利用率（地区別利用者数／地区別人口）



出典：総社市資料（令和6年度）

## (2) 地区別出発地・目的地件数

行きの出発地では、1,000件をこえる地区が各地に点在する一方、行きの目的地では、300件を越えるのは共通エリア周辺地区及び昭和エリアの美袋地区に限られており、美袋地区が共通エリア周辺地区に次いで一定の拠点性を持っていることが伺えます。

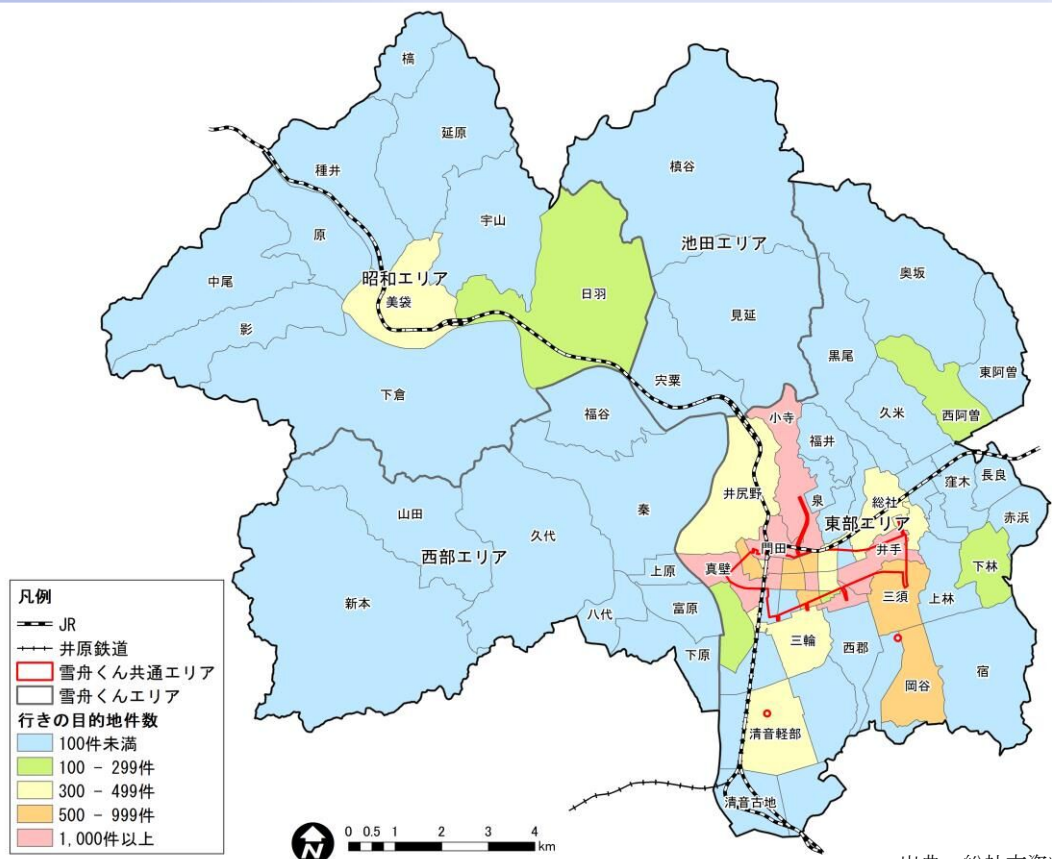
行きの出発地・目的地合計をみると、天満屋ハピータウンリブ総社店のある門田地区が5,000件以上と突出しており、同施設が雪舟くんを利用した移動の拠点となっていることが伺えます。

図 行きの出発地件数



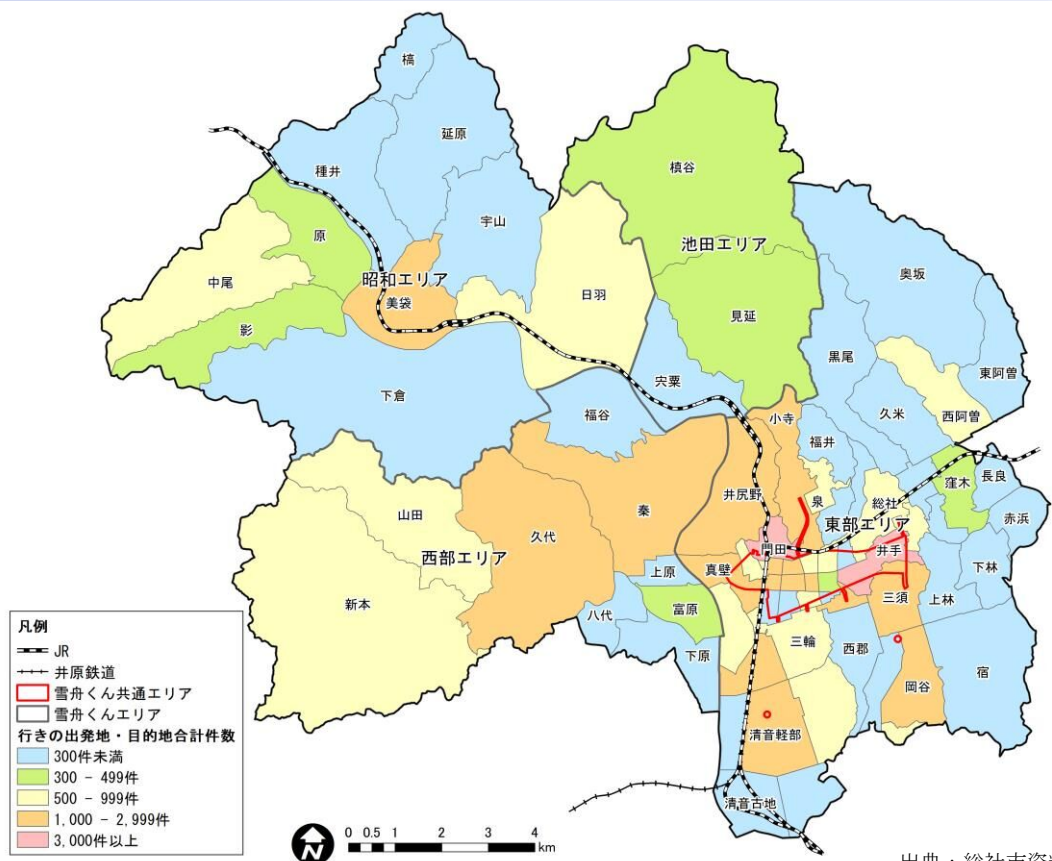
出典：総社市資料（令和6年度）  
 ※各トリップにおける目的地件数を地区別に合計して算出

図 行きの目的地件数



出典：総社市資料（令和6年度）  
 ※各トリップにおける目的地件数を地区別に合計して算出

図 行きの出発地・目的地合計



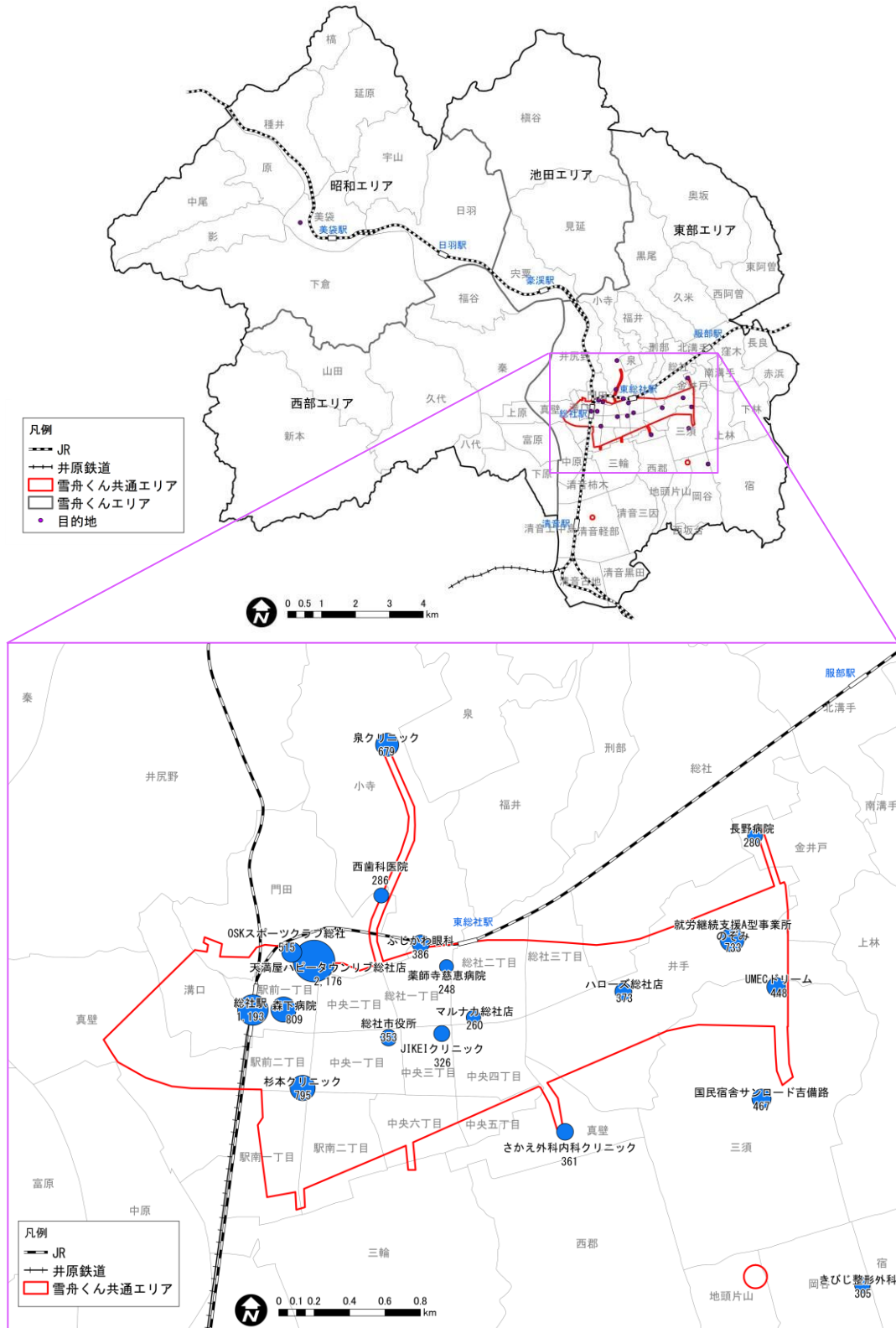
出典：総社市資料（令和6年度）

### 3-5-7. 主要目的施設の立地状況

自宅を除く行きの目的施設上位 20 位についてその位置を地図上に整理したところ、20 施設中 19 施設が共通エリア内及びその周辺、1 施設が昭和エリアの美袋地区に立地しています。

なお、利用者数の多い施設は、1 位が天満屋ハピータウンリブ総社店の 2,973 件であり、杉本クリニック (1,566 件)、泉クリニック (1,363 件)、総社駅 (1,302 件) が続いています。

図 主要目的施設の位置



出典：総社市資料（令和 6 年度）

### 3-5-8. エリア間移動の状況

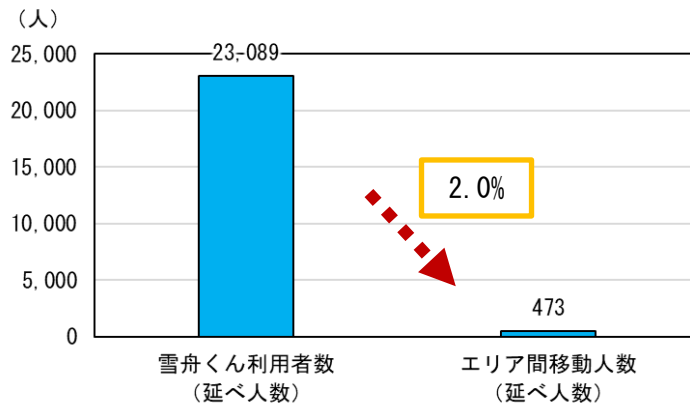
ここでは、各エリアから共通エリアを経由して他のエリアに移動する「エリア間移動」について集計・整理を行いました。

#### (1) エリア間移動人数

行きのデータに着目してエリア間移動の人数を調べたところ、延べ473人でした。

これは、令和6年4月～令和7年3月の間に雪舟くんを利用した延べ人数（人・日）23,567人に対して2.0%となっています。

図 エリア間移動人数

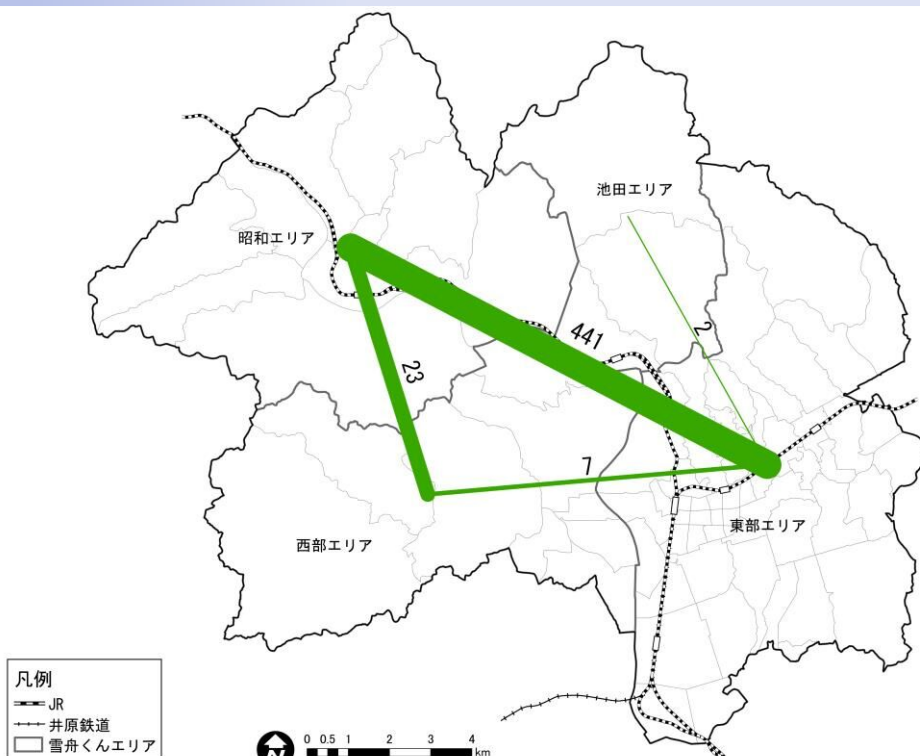


出典：総社市資料（令和6年度）

#### (2) エリア間移動のOD

エリア間移動473件のODをみると、そのうち441件（93%）が昭和エリア～東部エリア間（共通エリアを除く）の移動であり、次いで西部エリア～昭和エリア間の移動が23件（5%）となっています。

図 エリア間移動のOD



出典：総社市資料（令和6年度）

※OD：Oは出発地（起点：origin）、Dは目的地（終点：destination）を表す。